

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
平成30年度 第4回理事会議事録

日時:平成30年10月16日(火)

会場:文星芸術大学附属高校研修室

出席:(理事)14名 阿部泰紀、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、鈴木克美、直井秀幸、石渡光平、渡辺諭、益子基久、前原延之、宮川正敏(ミニ連代理)、佐々木清美、日向野剛、山田将樹

欠席:(理事)6名 上野秀夫、福田悦男、佐藤智信、高橋哲夫、新村雅司、日向野信行
(監事)2名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長:Bリーグが開幕し、シーズン真只中で、ウインターカップ県予選の開催もある。今後とも、協会発展のため尽くしていただきたい。

2 報告事項

(1)各種大会報告

ア 福井国体少年男子(小曾戸副会長)

○広島県と対戦した。高さ、シュートの正確さが違った。特に、留学生とU18の日本代表選手のレベルが違った。

○来年から少年種別はU16になる。協会としてどうするのか考えなければならない。

イ 中学校新人大会(中体連)

○男子:宇都宮市立鬼怒中学校、女子:宇都宮市立陽南中学校が優勝した。

ウ 社会人連盟より

○エンジョイリーグ、オープンリーグが終了した。来年については、猛暑対策について検討中。

○来年度関東社会人大会、再来年度全日本社会人大会が本県で開催される。

エ 車椅子連盟より

○10/14に、車椅子栃の葉大会を開催した。審判、補助員等協力に感謝する。

○11/11には、わかくさアリーナ杯がある。審判等協力願う。

(2)審判部より

○S級審査会において社会人連1名・高体連1名が推薦を受けた。これで、S級6名、A級8名となる。

(3)各アンダーカテゴリー部会からの報告

ア U12カテゴリー部会:11月に関東大会予選がある。

イ U15カテゴリー部会

中体連:○ブレックスカップについて、JBAのリーグ戦の開催を考えると11・12・1月をクリーンな状態にしないとリーグ戦を組めない。大会の持ち方を検討し、新しい大会にしたい。

U15部:○そこで来年度年間を通じたリーグ戦を考えている。8月までを前期、9月以降を後期とし、前期は全中予選のため部活はスポット参戦で、今のリーグ戦と同じとする。

○後期は、現ブレックスカップの地区予選リーグ戦を膨らませ、県内全チームを1~5部に分け9月~2月初頭の期間でリーグ戦を実施し結果と順位をつける。

○会場や審判については、各ブロック内で会場の持回りや帯同審判制にしたりすれば費用も掛からずリーグ戦が実施できる。

○JBAでは2020年3月にプレJrカップを予定しており、県の予選会をトーナメントで実施しなければならない。案としてリーグ戦の1部を、プレJrカップ参加希望チームのリーグ戦として、そのチーム間でトーナメントを行い県代表チームが決定する。

○名称をJrウインターカップ県予選会兼ブレックスカップとし、リーグ戦とトーナメントをまとめてブレックスカップとしたい。今後さらに検討してまとめていく。

(4)天皇杯・皇后杯2次ラウンドの競技役員について(競技部)

○競技主任2名、TO・スタッツ25名としたい。協会役員には、当日会場にお出でいただければお手伝い願いたい。

(5)財務部から

○来年度の事業案と予算案を提出願う。審査し1月末までに決定額を出したい。それを、来年度の交付額としたい。

○今年度の決算については、年度末の早い段階で収支決算の提出と通帳を戻してほしい。

○Tシャツ販売やBリーグ動員の益金については協会通帳に還付するので、今年度の交付金にプラスして収支決算を提出してほしい。残金は通帳返却時に返していただくことになる。

○JBAが推奨する通帳一括管理について、税理士と相談しており、来年度は活動資金を補助金としてではなく交付金として協会の枝通帳に振り込むことになる。

○お金の流れは、振り込む通帳が違うだけで基本的には同じ流れである。

○今まで決算報告が年一回であったが、今後は協会内でお金が行きわたることになるので2~3か月ごとに決算報告を出すようになる。詳細については今後詰めていく。

○ミニ・中・高体連の通帳は、アンダーカテゴリーとなるので、回収後変更して戻す。

3 中体連理事の都合により審議事項：協会優秀選手（中学生）表彰について審議する

定足数について：理事総数20名、内出席者14名で、本会議は成立する。

議事録署名人：BREX 山田将樹 氏 と 小山市協会 日向野剛 氏 にお願ひする。

審議事項：協会優秀選手（中学生）表彰について

中体連理事：ジュニアオールスターの3年生、県内で活動する強い意志、県大会の成績等を踏まえ男女各15名を選出した。審議願う。
—承認される—

報告事項に戻る。

- (6) 栃木県体育協会の名称変更に関するアンケート調査について(事務局)
 - 日体協の日本スポーツ協会への名称変更に伴う、県体協の名称変更(栃木県スポーツ協会)についてのアンケート調査、栃バ協としては、特に問題はないので賛成で回答する。
- (7) JBA 2018年度選手育成指導者表彰の推薦について(事務局)
 - JBAより届いた。ミニ・中・高体連で推薦があれば事務局まで連絡願う。
- (8) 賛助会の中間報告(事務局)
 - 個人88名、団体5名の方に入会していただき約61万円の協賛を得て、昨年度残額と合わせて約75万弱の残高となっている。
- (9) 全国専務理事会報告(専務理事)
 - 概要は報告書で報告済み。その連絡会で、JBA三屋会長が、アジア大会の不祥事について謝罪した。JOCからは、スポーツ界で問題となっている事柄について、率先して撲滅に当たるよう指導を受けた。今後窓口等設置を検討していく。
 - 県協会としても、リーフレット等を作り配布し啓蒙していく。
- (10) BREXより
 - 開幕して4連勝、東地区1位
 - 東武鉄道と連携企画でラッピングトレインの運行や東武宇都宮駅構内の広告掲載が始まった。
 - ミニバスケット大会の記念ウェアが現在365枚注文を受けた。中学校のブルックスカップでも販売することになっている。売り上げの5%を協会に還元する。
- (11) その他の報告
 - ア JBAカレンダーの購入・販売について(事務局)：昨年どおりとする。
 - イ 新年会の開催について(事務局)：仮予約をしてあり例年どおりの開催となる。
 - ウ AED貸出要領について(事務局)：県教委スポーツ振興課より届いた。(内容確認)
 - エ 「スポーツ実施率向上のための行動計画」の策定について(事務局)
県体協を通して通知された。(内容確認)
 - オ 12/8に西方体育館において社会人地域リーグ(旧実連)順位決定が行われている。観戦願う。

5 審議事項(議長：会長)

- (1) 天皇杯・皇后杯2次ラウンドの動員について(専務理事)
 - 12/1・2の天皇杯・皇后杯2次ラウンドに本県からBREX・白鷗大学男女の3チームが参加する。この機会に、各連盟に観戦動員をかけた。審議願う。
—承認される—
- (2) 協会優秀選手(高校生)表彰について(専務理事)
 - 高体連から候補選手が上がってきている。国体少年種別の参加選手となる。審議願う。
—承認される—
 - 協会の優秀選手表彰については、今後検討しなければならないことを了承願う。
 - ①国体少年種別がU16になる。(2019年度より)
 - ②ジュニアオールスターがなくなる。(今年度が最終)
 - ③中体連・高体連の枠を外してアンダーカテゴリーとなり、クラブ等も対象となってくる。

(3) その他：特になし

6 その他

- (1) 9/30に3x3のU15・U18の大会が行われた。U18の全日本選手権への出場は、男子：小山南高単独チーム、女子：宇中女高単独チームとなった。
- (2) 小山協会より：11/4にWリーグ小山大会が行われる。観戦願う。

7 あいさつ

小曾戸副会長：長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。次回もよろしくお願ひします。